

# 北の森林 も 林 国有林



北海道森林管理局

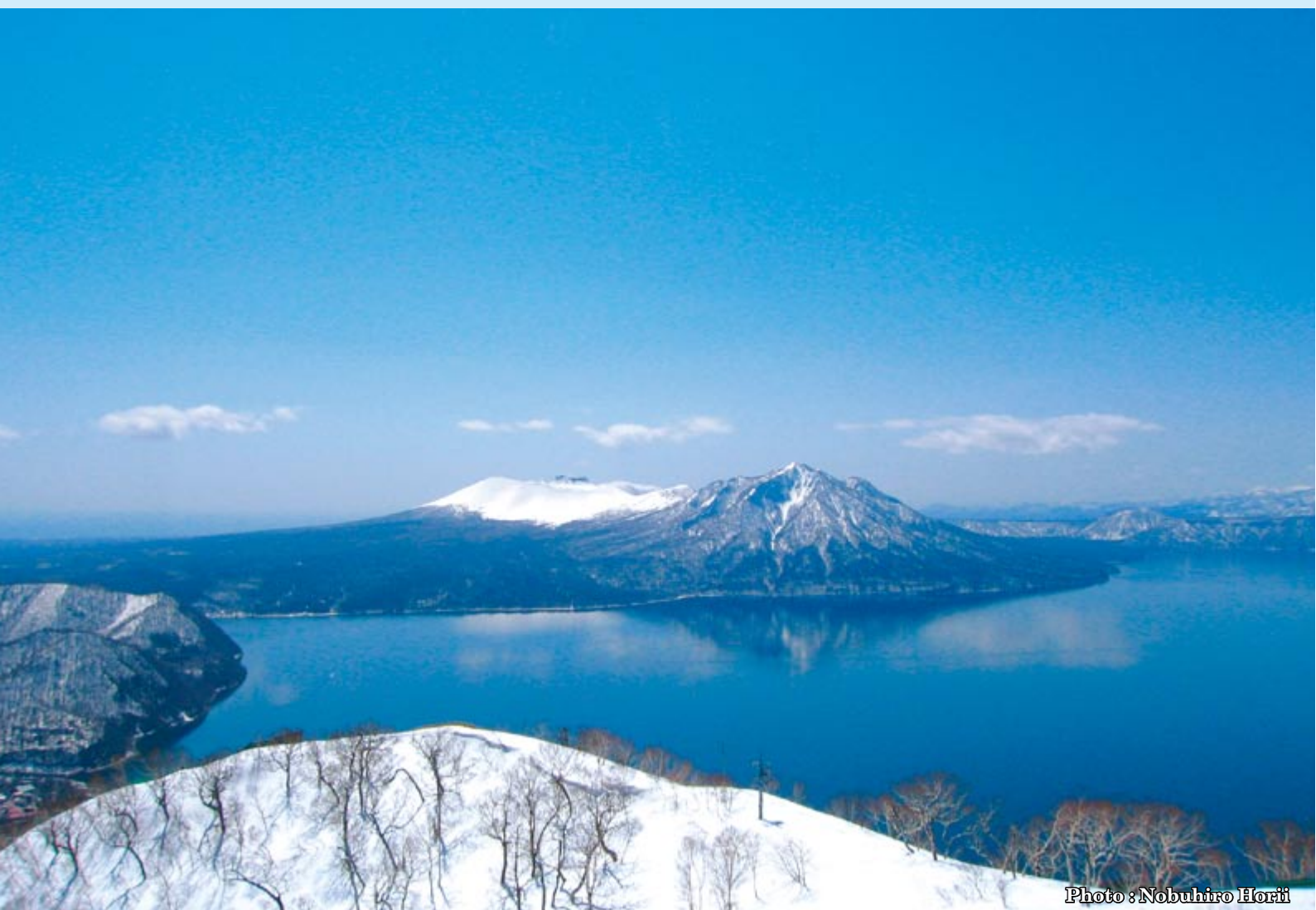


Photo: Nobuhiro Horii

しごっこ たるまえさん ふっふしだけ  
紋別岳から早春の支笏湖～樽前山・風不死岳を望む



国民の森林・国有林

地球を守る木 みんなの財産国有林



↑国有林野事業改革の現在の検討状況について説明する林野庁渡邊業務課長  
 →各地区の世話人の皆様と有意義な意見交換が行われました。



# 市町村と国有林野事業との さらなる連携の強化にむけて

## 北海道森林管理局 国有林野等所在市町村長有志連絡協議会

この度、全ての地区での協議会が終了したことから、二月二十七日（金）、各地区の世話人である二十二名の市町村長等に加え、林野庁より渡邊業務課長及び猪島森林保護対策室長、来賓として北海道水産林務部の野呂田林務局長にご出席いただき、「北海道

管内の市町村と国有林野事業との連携の強化を図り、地域の社会経済の発展と国有林野事業の円滑な遂行に寄与するため、札幌、旭川、北見、帯広、函館の各地区で有志協議会を開催し、市町村からいただいたご意見を国有林野事業の管理経営に活かしています。



↑連絡協議会の代表世話人をお引き受けいただいた林芦別市長



↑国有林野事業の推進へのご協力にお礼を述べる山田北海道森林管理局長

から、CO<sub>2</sub>排出量のデータを収集しているとの報道があったが、このようなデータは今後どのように使われる

いさつを兼ねた国有林野事業改革の現在の検討状況についての説明に続き、野呂田林務局長、今年度より連絡協議会の代表世話人に出された林芦別市長からごあいさつをいただきました。

森林管理局国有林野等所在市町村長有志連絡協議会」を開催しました。開催にあたり、渡邊業務課長より、あ



各地区の世話人の皆様からは、貴重なご意見などを数多くいただきました。

その後、各地区の協議会における意見交換等の概要報告を行い、続いて意見交換に入り、市町村長から「大学演習林では伐採後の森林

のか」、「国有林改革について、地元の森林管理署の将来像を示して欲しい」と言った趣旨の質問・要望が出され、本局富澤企画調整部長より伐採後の森林の扱いに関する今後の論点について、渡邊業務課長より「国会情勢が先行き不透明で個々の組織の将来像まで現段階で説明できる状況にな

い」旨を回答しました。最後に、山田北海道森林管理局長よりまとめのあいさつとして、国有林野事業推進へのご協力のお礼、各市町村よりいただいたご要望に応え最大限努力することを表明したほか、地域と国有林との今後益々の連携強化をお願いし、会議を終了しました。（業務調整課）





# 地域・学校と手を取り合って 広がる森林づくりの輪

→協定締結後、笑顔で握手する浜田町長（左）と勝占支署長



民・国連携で大きなメリット

## 新得町と森林整備協定

東大雪支署

二月十八日（水）、新得町と十勝西部森林管理署東大雪支署は、「新得地域森林整備に関する協定」を締結しました。

本協定は、「大雪・日高緑の回廊」の裾野に広がる新得地域の国有林と民有林（町有林）が連携して森林整備を行っていくというものです。地域の特色を生かした森林整備を進めるため、計画的な木材生産の場「サホロの森林」、生物多様性の保全や森林とのふれあいの場「狩勝の森林」、新得町の水源林「オダツシュ水源の森林」という三個所の森林施業共同団地を設定し、民・国合わせた面積は約五五〇〇畝に及びます。

協定期間は平成二十一年度からの五年間で、路網の相互利用及び維持・修繕の共同化なども取り入れています。

協定締結後、浜田町長は「コスト削減に大きなメリットがあり、対象エリアを広げていきたい」。勝占支署長は「事業図の作成や路網整備などを共同で行うことは相互にメリットがあり、今後は作業の発注時期をそろえることも視野に入りたい」と話し、早くも今後の発展に期待を込めました。（上月 総務課長）

## 復興の森づくりから発展

### 千歳・泉沢小と「遊々の森」協定

石狩森林管理署



←署長から児童会長に遊々の森活用校の認定証が手渡されました。

二月二日（月）、石狩森林管理署では、支笏湖周辺での台風災害復興の森づくり活動に積極的に参加している千歳市立泉沢小学校と、国有林を森林環境教育の場として利用する「遊々の森」の協定を締結しました。

当日は、調印式の後、全校集会で遊々の森で行う活動内容をスライドで紹介し、子どもたちはこの活動に夢を膨らませました。

同校では、今回の協定について春のPTA総会でも紹介するとのこと、今後の遊々の森での体験活動が、児童だけでなく親子のふれあいの場にもなっていくような期待を強く感じました。（杉村 流域管理調整官）

→調印を行った澁谷校長（右）と瀬戸口署長



# 冬の森林散策は発見がいっぱい

みんなで白銀の世界へ飛び込もう！



## 第93回 森林レクリエーション in 知床 早春の知床 かんじきで出かけよう！

知床森林センター



→かんじきを履いて、冬の知床の森へ出発！



↑職員から春を待つ樹木やシカの食害による森林被害などについての説明を行いました。



↑フレペの滝展望台からは流水で埋め尽くされたオホーツク海が一望できました。

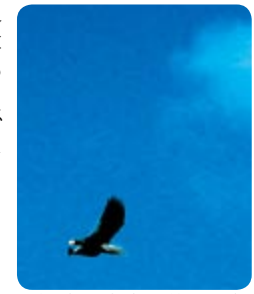


↑知床の青空の下、雪化粧した美しい知床連山をバックに記念撮影。

三月一日(日)、知床森林センターでは、森林レクリエーション in 知床「早春の知床！〜かんじきを履いて出かけよう」を開催しました。

当日は天候にも恵まれ、絶景との出会いにも期待がかかる中、十二名の参加者のみなさんと、凍りつくフレペの滝周辺や雪をかぶった原生的な森林の中の約三・五キロのコースを三時間ほどかけて散策を楽しみました。

森林の中では、そこに棲むエゾシカ、ネズミ、エゾリス、キタキツネなどの野生動物たちの足跡や、トドマツの幹に残るヒグマの爪痕などの痕跡、ホオノキの



↑知床の大空を悠々と舞うオジョロワシ。

冬芽やエゾシカによるキハダの食害などを職員の解説を聞きながら間近で観察しました。

また、大きなトドマツの木に残るクマガエラの食痕跡を観察した際には、皆さんクマガエラに大変関心を持たれたようで、色々な質問が飛び出しました。

さらに、原生林の樹齢数百年にも及ぶであろう大木や、これから大きくなる若木で構成された二次林の中に身を置いたみなさんは、長い時間をかけて成長する森林の成り立ちに思いを馳せていた様子でした。

休憩したフレペの滝展望台からは、知床連山とオホーツク海を埋め尽くす流水群が織りなす絶景に感嘆の声が上がっていました。

(清水 緑化第一係長)





◀雪の降り積もった冬の森ならではの自由なウォーキング。参加者のみなさんはポロトの森の新たな魅力をたくさん発見したようでした。

## かんじきで冬のポロトの森を散策 雪中ウォーキングで 新たな「森の魅力」発見！

胆振東部森林管理署

（東本 流域管理調整官）

二月二十八日（土）、白老町ポロト自然休養林において、胆振東部森林管理署とポロトの森ネイチャーガイド「めむの会」主催による「ヘルシーウォーク・カンジキで冬のポロトの森を散策」を開催しました。

当日は快晴の下、十四名の参加者のみなさんと、かんじきを履いて約3kmのコースを雪中ウォーキングし、途中、雪原に残る動物の足跡、木の実の食痕にこの森に息づく動物たちの姿を思い浮かべたり、美しい樽前山の姿を眺めました。参加者のみなさんは冬の自然の中で心地よい汗をかきながら、ポロトの森の新たな魅力を発見していたようでした。



↑かんじきを履いたら、今日のコース説明です。



↑職員やネイチャーガイドが冬の森を楽しく解説しました。



→凍った虹の滝の前での記念撮影

## 冬の自然観会 鹿の子沢風景林を 雪上トレッキング

常呂川森林環境保全ふれあいセンター

二月十五日（日）、置戸町の鹿の子沢風景林において、森林ボランティア「オホーツクの会」による冬の自然観観察会が開催され、当センターではサポートを行いました。

芽吹きに備えた冬芽等、葉の生い茂っていた夏とは違う冬の森を観察しながら、虹の滝まで歩きました。スノーシューを初めて履いた方も多く、沈まずに雪の上を歩く感触も楽しんでもらうことができました。

（浅田 自然再生指導官）



# 優れた施工技術を讃えて

平成二十年度 治山・林道工事コンクール



林野庁長官賞①栄浜林道  
女男の沢支線下の沢分線  
新設工事（函館地区）  
②サンゴの沢災害関連緊  
急工事（札幌地区）  
③局長室で行われた札幌  
地区の表彰式



治山・林道工事コンクールは、前年度に発注した工事を対象として構造物の仕上がり状況、施工管理、安全管理、自然環境への配慮等を総合的に評価し、優れた工事を表彰するもので、施工技術の向上について関係者の意欲高揚を図るため毎年開催しています。

今年度は、北海道森林管理局管内の治山工事百十一件、林道工事六十四件の審査対象工事について、林野庁及び北海道森林管理局において審査を行った結果、最優良工事として林野庁長官賞九件、優良工事として北海道森林管理局長賞二十一件の工事を表彰しました。

林野庁長官賞の表彰式は二月九日に、北海道森林管理局長賞の表彰式は各地区毎に行いました。

札幌地区については二月十九日に表彰式を行い、山田北海道森林管理局長から受賞者の皆様に厳しい施工条件の中で優れた工事を実施していただいたことへの謝意を表しました。

なお、他の四地区の表彰式については次の日程で行われました。

- ・旭川地区（三月二十三日）
- ・北見地区（二月二十三日）
- ・帯広地区（二月二十四日）
- ・函館地区（二月二十日）

（森林整備第二課・治山課）

## 北海道森林管理局長賞受賞工事

### 【治山の部】

署名	工事名	会社名
日高北部	イヨロマップ沢治山工事	(株)五十嵐工業
日高南部	フタツ沢治山工事	(株)村田土建
上川南部	丹内治山工事	(株)山崎組
上川中部	双雲別沢治山工事	東邦木材工業(株)
上川中部	日赤裏治山工事	(株)騎西組
網走西部	菊地の沢治山工事	大同産業開発(株)
西紋別	3号沢治山工事	(株)松本組
東大雪	岩船の沢（1100林班）災害関連緊急復旧工事	イチエイ建設(株)
十勝東部	中ノ沢（384林班）治山工事	齊藤井出建設(株)
檜山	ツラツラ川（母沢）森林水環境総合整備事業	吉田建設(株)
渡島	駒ヶ岳（押出の沢）地域防災対策総合治山事業	高木・吉田・齊藤 JV
後志	小有珠右の川地域防災対策総合治山事業	石井組・近藤建設・中川建設 JV

### 【林道の部】

署名	工事名	会社名
空知	野々沢支線林道災害復旧工事	及川産業(株)
日高北部	三井の沢林道災害復旧工事	岸本産業・井出組 JV
留萌南部	中記念別林道災害復旧工事	(株)飯島組
西紋別	上古丹3号沢林道新設工事	(株)菊地組
網走西部	(併) 福島団体線改良工事	(株)西村組
十勝東部	取布朱林道災害復旧工事	(株)河向組
東大雪	糠平三股林道外2線災害復旧工事	大道建設(株)
十勝西部	ひょうたん沢林道災害復旧工事	ケイセイマサキ建設(株)
後志	茂岩林道災害復旧工事	菊地建設鋳業(株)



↑林道部門の優良工事で北海道森林管理局長賞を受賞した「三井の沢林道災害復旧工事」

（札幌地区）



↑治山部門の優良工事で北海道森林管理局長賞を受賞した「岩船の沢災害関連緊急復旧工事」

（帯広地区）

# 羊蹄山での37年にわたる 治山事業を振り返る

尻別川地区民有林直轄治山事業  
概成記念講演会



羊蹄山・尻別川地区民有林直轄治山事業施工地の空撮

●羊蹄山の山麓は大正時代から昭和初期にかけて開拓が進みましたが、幾度も土石流災害が発生し、地域住民より大規模な復旧治山工事への要請が高まり、昭和47年、当時の倶知安営林署（現後志森林管理署）により本事業はスタートしました。

その後37年間にわたって「低ダム群工法」を主体とした治山工事を進めてきましたが、このほど完了し、北海道庁へ事業が移管されることになりました。



治山事業により蘇った森林を自然学習の場に

●技術論だけに止まらない、大変有意義な講演をいただいた東 三郎北海道大学名誉教授

## 【後志森林管理署】

北海道森林管理局管内で唯一行われていた尻別川地区の「民有林直轄治山事業」が完了し、本年度をもって北海道庁へ移管されることとなりました。

そこで後志森林管理署では、羊蹄山（標高一八九八呎）において昭和四十七年に始まり、三十七年間に及んだ本事業の概成を記念し、二月五日（木）に倶知安町において、長年にわたる技術指導をいただいた東三郎北海道大学名誉教授を

講師に迎え講演会を開催しました。

当日は、地元三町の関係者、事業の移管先である道庁関係者、これまで本事業に携わった国有林・工事関係者ら約百五十名が参加しました。

講演に先立ち、まず尻別川治山事業所主任よりこれまでの事業の経過報告、続いて移管セレモニーとして、倶知安町・京極町・喜茂別町の町長などの立ち会いの下、後志森林管理署長から北海道後志づくりセ

ンター所長へ「直轄治山台帳」の引き渡しが行われました。

「羊蹄治山の技術原理」と題した講演では、「低ダム群工法」という東先生が提案した工法の技術的な説明から始まり、「羊蹄山では低ダム群工法の野外実験をさせていただいたが、この実験は成功し、ここ二十年以上大きな土石流災害は発生していない」、「治山事業はダムを造ることだけが目的ではなく、それにより土地を安定させそこに森を

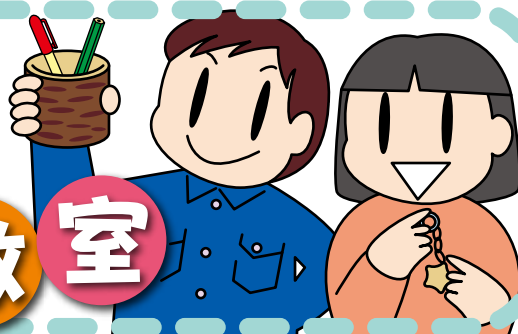
つくるという文化事業である」、「低ダムを配置した羊蹄山の各沢では溪床が安定し樹木が大きく育っている」、「こういった現場を自然学習の場として活用し地元町民や子どもたちにも知ってもらうことも重要だ」など、技術論だけに止まらない講演は熱を帯び、参加者にとっても大変有意義なものになりました。

最後に、これまでの感謝の意味を込めて東先生に花束を贈呈し終了となりました。（森治山課長）





# みんなで楽しい 冬の森林教室



↑雪を掘っていくと・・・  
「宝物あったよ～!!」  
←測量機器を使いこなして宝探し  
「もうちょっと右だ!!」

測量機器を使って  
わんぱくの森で宝探し

幌加内町立朱鞠内小

【空知森林管理署北空知支

署】二月二十四日(火)、

幌加内町立朱鞠内小学校の  
遊々の森「わんぱくの森」  
で子どもたちと冬の森林教  
室を行いました。

今回のテーマは、森の中  
に埋められた宝物を宝の地  
図を手がかりに測量して探  
し出すというもの。

森の中は前に進むだけで  
も大変な積雪でしたが、か  
んじきを履いた子どもたち  
は、職員から測量機器の使  
い方を教えてもらい、距離  
や方向をしつかり測って、  
宝の埋まった場所へ全力疾  
走。大人が手伝うことなく  
見事に掘り当て「中身は何  
だろう??」

途中、木の勉強もしながら  
冬の森の中を、お腹が空  
くまで走り回り、森林官の  
仕事を知ってもらうことも  
できた内容の濃い一日とな  
りました。(永宮業務課長)

## 木粘土で キーホルダー作り

富村牛小中&上幌内小

【十勝西部森

林管理署東大

雪支署】二月

九日(月)、新

得町立富村牛

小中学校と鹿

追町立上幌内

小学校の交流

学習会で森林

教室を行い、

子どもたちと一緒に木粘土  
でキーホルダー作りに挑戦  
しました。

子どもたちは「鉛筆のこ  
おいがして、柔らかくて楽  
しい」と話しながら、沢山  
の作品を作っていました。  
(赤坂 森林ふれあい係長)



→木粘土は鉛筆工場から出るおがく  
ずが原料なんですよ

## 丸太を切って ペン立て作ったよ!

遠軽町立遠軽東小

【網走西部森

林管理署】二

月一七日(火)、

遠軽町立遠軽

東小学校の五

年生のみなさ

んと森林教室

「森林博士に

なろう」を開

催しました。

当日は、丸太のペン立て  
作りを行い、子どもたちは  
色々な種類の木の丸太をの  
こぎりで切り、ドリルでく  
り抜き、木々の香りや感触  
を楽しみながら作品作りに  
熱中していました。  
(辻 森林ふれあい係長)



→シラカバやイタヤカエデの丸太を  
3人がかりで切り取りました





上紋峠から望む雪景色のカンパネ育林

# 感 雑 長 署

## 道北の寒さに震え 地域での官・民一体の取り組み

上川北部森林管理署 署長 後藤 昭由



上川北部森林管理署の管轄区域は、道北の内陸部に位置し、厳寒期は氷点下

「アイスキャンドルミュージアム」を九日間にわたり開催しました。また、名寄市のピヤシリ自然休養林内のピヤシリスキー場では、最高のパウダースノーが体験できるとともに、気象条

三〇度以下となる厳しい自然条件下、十六万四千鈔の国有林野を管理経営しています。

管内自治体ではこの厳しい寒さを活かした厳冬のイベントを開催し、寒さ・雪・氷とふれあい、特に下川町では二月に、同町が発祥の地であるアイスキャンドルを灯す「冬の風物詩」、三十五回目となる

件がそろえばダイヤモンドダストやサンピラーを見ることができません。

ここで、国・道・民有林が共通する上川北部流域の森づくりを進める取り組みである、「天塩川流域森づくりの集い」と「運営委員会」を紹介します。

集いは二月十九日に士別市朝日で開催されました。これは、森林・林業に関する地域課題や業務成果等について、地元関係者が気軽に発表し参加できる事例発表会であり、当署では和寒町南丘の治山事業、北海道森林管理局旭川事務所の低コスト路網作設関係のパネル展示を行いました。

また、運営委員会には、若手技術者の育成のために当署職員も勉強会に参加し、研鑽を深めています。

最後に、当署では天然力を活用した森林整備にも取り組んでおり、士別市朝日から滝上町にぬける「上紋峠」では、大型機械による地がきを実施した結果、雪景色の中でくつきりとその列条の状態が分かります（写真上）。将来の広葉樹材の生産に対応するとともに、人工林に侵入した広葉樹の有効活用として、間伐作業の中での広葉樹材の生産などに取り組んでいきたいと思います。



下川町アイスキャンドル・パーク



名寄ピヤシリスキー場



天塩川流域森づくりの集いでのパネル展示



アイヌ語で「物干し棚のような山」・クマネシリ岳 (1,586m)

## 緑豊かな森林に囲まれ

芽登森林事務所は、松山千春さんの出身地で、映画「旅立ち〜足寄より〜」

# 森林官 リレー

はてしなく広大な大地

足寄の森から

のロケ地ともなった足寄町中心部より北西十六キロに位置し、約一万四千畝の国有林野を管理しています。



足寄の森から

同町は約十四万八千畝に及ぶ広大な面積を有し、そのうち八三割が森林で、国有林野は全町面積の五六割を占めています。

同町ではこの豊かな森林資源を有効活用する、木質バイオマスエネルギー・ペレットの普及に積極的に取り組んでいます。

また、森林管理署でも林地廃材等の有効活用に向けた取組を始めています。



春はすぐ目の前だよ

当森林事務所部内の国有林野は平成十六年の台風、同十八年の異常低気圧によ

り大きな風倒被害を受けました。その復旧のため、夏の間は被害木整理の収穫調査を行い、現在は雪深い中、動物たちにも優しい森林をつくるための作業を安全に努めながら和気あいあいと楽しくガンバって進めています。



間に秘湯温泉あり

国有林野に囲まれた山間に突如現れる秘湯「芽登温泉」は、アトピー体質の方にもおすすめなアルカリ性（単純硫酸泉）。野趣満点の混浴大露天風呂（女性専用もあり）があり、秘湯だけあって、野生の鹿・狸・狐・犬？等が目前を横切ることも！。ぜひ、一度疲れを癒しにいらしてみませんか？



和気あいあいと森林づくりを進める芽登・糠南合同森林事務所のメンバー（前左が秋元森林官）



足寄町公認7つの滝の1つ「巨岩の滝」



秘湯・芽登温泉  
野趣満点の露天風呂



十勝東部森林管理署  
芽登森林事務所

森林官  
秋元 郁弥

## 芽登・糠南合同森林事務所

- 足寄郡足寄町芽登本町243
- 電話0156-26-2131





# 各地からの便り



## 森での体験みんなで発表



江別市立野幌小学校

### 【石狩森林管理署】三月二

日(月)、当署と「遊々の森」の協定を結んで「愛林少年団」活動を行っている江別市立野幌小学校で、一年間の活動成果をまとめた発表会が行われました。

子どもたちは、活動から学んだことや思い出などを画用紙などにまとめ、大きな声で発表していました。当署では、今後も引き続きサポーターの林業技士会と連携を図りながら、同校の活動を支援していきたくと考えています。

### 【網走西部森林管理署】三

月三日(火)、当署が「まちの森林博士」と協力して森林教室などを行っている遠軽町立遠軽東小学校で、総合学習の中で学んだことなどを新聞にまとめて発表する学習発表会が行われました。

森林をテーマにしたグループは、森の中の体験や印象に残ったことを元気に発表していました。特に山で見たウルシやマスタケの印象が強かったようで楽しそうに説明するグループもありました。



遠軽町立遠軽東小学校

## アイスキャンドルでほんわか～

【空知森林管理署】当署では、寒い冬ですがほんのりと市民の皆さんに喜んでもらおうと庁舎エントランスにアイスキャンドルを設置しています。



ろうそくの炎がゆらぐエントランス

## 野幌樹木園の100年リーフレット作成

【北海道林業技士会】当会では石狩森林管理署及び北海道と「野幌樹木園」の調査・整備等についての協定を結んでい

ます。この度、その一環として、北海道の山づくりに貢献した野幌樹木園の現状調査結果と同園の生い立ち、その歴史的な背景等を取りまとめたリーフレットを作成しました。

野幌樹木園の果たしてきた役割、植栽後百年を経過した樹木の観察等に役立っていただければ幸いです。

希望者は北海道林業技士会(☎011-331-5943)までお問い合わせ下さい。





## 春スキーを楽しめる 中山峠スキー場

後志森林管理署

レクニ森紹介

# スキーへ行こう!



国有林には、その自然環境を活かした、すばらしいスキー場が広がっています。このコーナーではその魅力の数々を紹介していきます。

中山峠スキー場は、札幌と道南圏を結ぶ国道230号の中山峠頂上付近にあり、道内の自然降雪のスキー場のトップを切って、毎年11月初旬にオープンし、翌5月のゴールデンウィークを過ぎるまで、約半年間という長期にわたって滑走が楽しめる札幌圏近郊のスキー場として人気があります。

最頂部の標高が約1000㍍と高いことから最高のパウダースノーを楽しむことができ、また、蝦夷富士＝羊蹄山を望みながら滑ることができることから、シーズンを通して多くの方々に利用されています。

同スキー場は、初心者から上級者まで楽しめる4コースが整備され、近郊には定山溪や洞爺湖などの温泉地があり、札幌から約一時間でアクセス可能ですので、シーズン後半のスキー・スノーボードスポットとして訪れてみてはいかがでしょうか。



- 所在地 虻田郡喜茂別町字川上
- 開設期間 平成21年5月24日まで(予定)
- 問い合わせ 0136-33-3373
- ホームページ <http://ageimo.com/snow/>
- アクセス
  - 車…札幌市から1時間10分(45km)
  - 倶知安町から1時間00分(44km)
  - 新千歳空港から1時間30分(83km)
  - 洞爺湖温泉から1時間10分(58km)
  - バス…札幌市から1時間15分(定山溪経由)

毎月、みなさまにお届けしてきました。広報紙「北の森林 国有林」は、今月号をもちまして紙媒体としての発行を終了し、四月から北海道森林管理局のホームページ内で、新たな形で北海道国有林の情報をお届けしていくことになりました。

電子媒体ならではの速報性と編集手法で、これまで以上に北海道の国有林を身近に感じていただけるよう努力していきますので、引き続きご愛読いただきますようお願いいたします。

### 広報紙

## 北の森林 国有林

4月からインターネット版にリニューアル!



北海道森林管理局

検索

クリック!



4月からの新アドレス <http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/>

広報「北の森林 国有林」3月号 No.106

発行 北海道森林管理局

編集 保全調整課

〒064-8537 札幌市中央区宮の森

3条7丁目70

I P 電話 050-3160-6274

電 話 011-622-5231

F A X 011-622-5235

<http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/>

▽四月十日(金)  
知床森林センター  
斜里町

▽四月七日(火)  
平成二十一年度新規採用  
者入庁式  
局 大会議室

EVENT INFORMATION

行事・イベント情報